

令和5年度 第4回小松島市ごみ処理施設整備手法等検討委員会 議事要旨

日時：令和5年11月21日(火)13:00～

場所：小松島市役所 4階大会議室

出席委員

上月委員、小川委員、蔭山委員、澤口委員

会議に付した案件

- 議題（1）好気性発酵乾燥方式の二酸化炭素排出量について
- （2）施設整備基本構想（案）について
- （3）答申書（案）について

議事要旨

委員の半数以上が出席しているため、委員会が成立していることを確認した。

議題（1）好気性発酵乾燥方式の二酸化炭素排出量について

好気性発酵乾燥方式の二酸化炭素排出量について報告。

委員意見：ごみの燃焼に係る二酸化炭素排出量は好気性発酵乾燥方式の際は固形燃料の燃焼、焼却方式の場合は中間処理時の排出量ということによいか。もともと投入したごみ量は同じであるが、排出される二酸化炭素排出量が異なるのはなぜか。

事務局：環境省の温室効果ガス算定マニュアルでは、使用するボイラによって排出係数が異なる。焼却時と燃料利用時で燃焼効率も違うため二酸化炭素排出量も異なる。

委員意見：好気性発酵乾燥方式の生成物を搬出する先を近距離にすると、さらに二酸化炭素排出量を削減できるのか。

事務局：本試算では、四国を横断できる距離（往復400km）で計算している。これが徳島県内などの近距離になるとさらに二酸化炭素排出量を削減できる。

議題（２）施設整備基本構想（案）について

施設整備基本構想（案）について報告。

委員意見：好気性発酵乾燥方式を採用する場合、ごみの収集形態は変わるのか。

事務局：現時点では、収集区分の変更は考えていない。今後、リサイクルセンターの整備等も計画するため適切な収集形態について検討していきたい。

委員意見：先行自治体はプラスチックの収集をどうしているか。

事務局：製品プラスチックは不燃ごみで収集している。容器包装プラスチックについては確認する。

委員意見：今後、プラスチックを可燃ごみに混合して排出してもよいのではないか。

事務局：リサイクル意識の観点からも分別することに意味があると考えている。コストも含めて検討したいと考えている。

委員意見：私の住んでいる自治体では可燃ごみとしてプラスチックを焼却している。好気性発酵乾燥方式はプラスチックも一緒に処理するため、混合して収集することが効率的である。処理の仕組みを市民に伝えることが重要である。

委員意見：人口減少に伴い、1人あたりのごみ処理コストが高くなっていく。好気性発酵乾燥方式を採用することでコスト縮減になるのであれば、その効果を市民に伝える意味でも整理してほしい。

事務局：今後内容について検討していきたい。

委員意見：災害時に会議室を開放するといった記述があるが、事業方式によっては民間の施設となることも想定される。記載内容は実現性が高いものを記載することが良い。

事業スケジュールのうち、都市計画決定が記載されていないが、どの段階で実施するか。また都市計画決定ができなかった場合の事業スケジュールへの影響はどうか。

事務局：災害時の役割については、次年度以降に事業方式を決定していくため、その時点で検討したいと考えている。

都市計画決定については、令和7年度を目途に検討しているが、地権者の関係もあるため未定である。

委員意見：本施設は地域への貢献をコンセプトとしているため、災害時の役割について十分に検討してほしい。避難所又は避難場所としての役割、環境学習の場としての役割について検討してほしい。

委員意見：概要版では処理方式の検討結果を示しているが、候補地については

結果のみの記載となっている。どのような考えか。候補地についても検討結果を記載してはいかがか。

事務局： 検討結果がわかるように記載したい。

委員意見： リサイクルセンターの整備についてどのような事を検討していくか。

事務局： 破砕機や選別ラインの導入等について検討していきたい。勝浦町との広域化の可能性もあるため、これも踏まえて検討したい。

委員意見： 概要版の中で基本方針が示されているが、今回の検討の結果との関連を示すことでわかりやすくなるを考える。そうすることで今後の課題も明らかになると考える。

事務局： 基本方針との関連について記載方法を検討する。

議題（3）答申書（案）について

答申書（案）について報告。

委員意見： 答申の冒頭に基本方針も追加することが望ましい。

委員意見： 候補地 No.3 という表現がわかりにくいのではないか。

事務局： 名称を記載するように修正する。

委員意見： 基本構想（案）の修正を含め、委員長と事務局で確認して最終版とする。